

## コンパクト電動シリンダ

# DRシリーズ ワイドテーブルタイプ

## 取扱説明書 アクチュエータ編

### もくじ

|   |               |    |    |                   |    |
|---|---------------|----|----|-------------------|----|
| 1 | はじめに .....    | 2  | 7  | 点検・保守 .....       | 21 |
| 2 | 安全上のご注意 ..... | 3  | 8  | トラブルシューティング ..... | 25 |
| 3 | 使用上のお願い ..... | 6  | 9  | 仕様 .....          | 26 |
| 4 | 準備 .....      | 10 | 10 | 法令・規格 .....       | 28 |
| 5 | 設置 .....      | 13 | 11 | 外形図 .....         | 29 |
| 6 | 接続 .....      | 20 |    |                   |    |

お買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書には、製品の取り扱いかたや安全上の注意事項を示しています。

- 取扱説明書をよくお読みになり、製品を安全にお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

# 1 はじめに

---

## 1-1 お使いになる前に

製品の取り扱いは、電気・機械工学の専門知識を持つ有資格者が行なってください。お使いになる前に、3ページ「2 安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本文中の警告・注意・重要に記載されている内容は、必ずお守りください。

この製品は、一般的な産業機器への組み込み用として設計・製造されています。その他の用途には使用しないでください。この警告を無視した結果生じた損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## 1-2 製品の概要

コンパクト電動シリンダDRシリーズ(以下、シリンダと記載)は、ボールねじをステッピングモーターに組み込んだ直動機構のアクチュエータです。モーターには、***αSTEP*** AZシリーズを採用しています。

## 1-3 関連する取扱説明書

取扱説明書については、当社のWEBサイトからダウンロードしていただくか、支店・営業所にお問い合わせください。

<https://www.orientalmotor.co.jp/>

- DRシリーズ 取扱説明書 アクチュエータ編(本書)
- AZシリーズ/AZシリーズ搭載電動アクチュエータ 機能編
- 電動アクチュエータ コンパクト電動シリンダ 機能設定編※

※ 必ず、コンパクト電動シリンダ専用の機能設定編をご覧ください。




これらの取扱説明書に記載されていない内容は、ドライバの取扱説明書をご覧ください。

## 2 安全上のご注意



ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損傷を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから製品をお使いください。

シリンダを組み込む機械が関連する安全基準を満たしていない場合、シリンダの運転を開始する(用途の指定に従って装置を操作する)ことは禁止されています。工場または機械の安全責任者は、けがや機器の損害を防止し回避するため、電子機器の作業に精通した有資格者だけが機器の操作を行なうように保証する必要があります。有資格者とは、訓練、経験、教育を受け、関連基準や規則、事故防止規則、点検条件について精通しており、工場の安全責任者によって必要な活動を行なうことを許可され、潜在的危険を識別し、防止することができる人を指します。

### 表示の説明

|   |   |
|---|---|
|  <b>警告</b> | この警告事項に反した取り扱いをすると、死亡または重傷を負う場合がある内容を示しています。                |
|  <b>注意</b> | この注意事項に反した取り扱いをすると、傷害を負うまたは物的損害が発生する場合がある内容を示しています。         |
|  <b>重要</b> | 製品を正しくお使いいただくために、お客様に必ず守っていただきたい事項を、本文中の関連する取り扱い項目に記載しています。 |

### 図記号の説明

|   |                          |
|---|--------------------------|
|    | してはいけない「禁止」内容を示しています。    |
|  | 必ず実行していただく「強制」内容を示しています。 |

# 警告



- 爆発性雰囲気、引火性ガスの雰囲気、腐食性の雰囲気、水のかかる場所、および可燃物のそばでは使用しない。  
火災・けがの原因になります。
- 通電状態で移動、設置、接続、点検の作業をしない。  
感電の原因になります。
- ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったり、挟み込まない。  
火災の原因になります。
- シリンダを分解・改造しない。  
けが・装置破損の原因になります。
- 生命または身体の維持や管理などに関わる医療器具、および人体の移動や搬送を目的とする装置には使用しない。
- 通電状態で可動範囲内に入らない。必ずEN ISO 13857に従った安全防護柵を設ける。また、手で可動部を動かして調整・点検するときは、ドライバの主電源を遮断する。  
けがの原因になります。
- 押し当て運転以外で、ボールねじを機械的ストッパに衝突させない。  
けが・装置破損の原因になります。



- 設置、接続、運転・操作、点検・故障診断の作業は、適切な資格を有する人が行なう。  
火災・けが・装置破損の原因になります。
- データを設定するときは、安全防護柵の外で行なう。  
けがの原因になります。
- 昇降装置に使用するときは、可動部の位置保持対策を行なう。  
けが・装置破損の原因になります。
- ドライバのアラーム(保護機能)が発生すると、シリンダは停止し、保持力がなくなるため、可動部を保持する対策を行なう。  
けが・装置破損の原因になります。
- シリンダは筐体内に設置する。  
けがの原因になります。
- 装置の故障や動作の異常が発生したときに、装置全体が安全な方向へはたらくよう、非常停止装置または非常停止回路を外部に設置する。  
けがの原因になります。
- ドライバを交換したときは、分解能や移動方向などのパラメータを設定してから運転する。  
パラメータを設定しないで運転すると、ボールねじが予期せぬ方向や速度で動作し、けが・装置破損の原因になります。

## ⚠ 注意



- シリンダの仕様値を超えて使用しない。  
けが・装置破損の原因になります。
- 指や物をシリンダの開口部に入れない。  
火災・けがの原因になります。
- 運転中や停止後しばらくの間はシリンダに触らない。  
やけどの原因になります。
- 可動部やケーブルを持たない。  
けがの原因になります。
- 可燃物をシリンダの周囲に置かない。  
火災・やけどの原因になります。
- 通風を妨げる障害物をシリンダの周囲に置かない。  
装置破損の原因になります。
- 運転中は可動部に触らない。  
けがの原因になります。
- 絶縁抵抗測定、絶縁耐圧試験を行なうときは、端子に触れない。  
感電の原因になります。
- シリンダの動作中は、ケーブルを可動部に接触させない。  
ケーブルが断線して、破損の原因になります。



- シリンダとドライバは指定された組み合わせで使用する。  
火災の原因になります。
- 運搬や設置の際は、ヘルメット、安全靴、手袋などの保護具を着用する。  
けがの原因になります。
- シリンダは正常な運転状態でも、モーターの表面温度が70℃を超えることがあるため、運転中のモーターに接近できるときは、  
図の警告ラベルをはっきり見える位置に貼る。  
やけどの原因になります。



警告ラベル

# 3 使用上のお願い

製品をお使いいただくうえでの制限やお願いについて説明します。

## ■ 全般

- シリンダとドライバは、必ず当社のケーブルを使用して接続してください  
ケーブルの品名は、当社のWEBサイトでご確認ください。

- テーブルを外したり、ねじを緩めないでください

テーブルを外したり、テーブルのねじを緩めると、ボールねじの取付精度が低下してシリンドラの動作不良や寿命低下の原因になります。

また、出荷時にエンコーダ(ABZOセンサ)に設定した原点がずれてしまい、予期せぬ動作によって装置が破損するおそれがあります。

- お客様側で負荷搬送用のガイドを設置しないでください

ガイド同士の不整合などによって、装置が破損するおそれがあります。

- 絶縁抵抗測定、絶縁耐圧試験を行なうときは、シリンドラとドライバを切り離してください

シリンドラとドライバを接続した状態で、絶縁抵抗測定、絶縁耐圧試験を行なうと、製品が破損するおそれがあります。

- シリンドラに衝撃を与えないでください

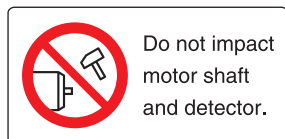
シリンドラを落下させないでください。また、シリンドラをぶつけたり、叩かないでください。シリンドラに衝撃が加わると、位置決め精度の低下、モーターの破損、寿命低下の原因になります。

- エンコーダ(ABZOセンサ)は絶対に叩いたり、強い衝撃を与えないでください

- エンコーダ(ABZOセンサ)に強い衝撃が加わると、エンコーダ(ABZOセンサ)が破損したり、モーターが誤動作する原因になります。

- シリンドラを搬送したり、負荷を取り付けるときは、可動部へ強い衝撃を与えないように扱ってください。

- モーターには、図の警告ラベルが表示されています。



警告ラベル

- 機械式センサの噛み合い音について

エンコーダ(ABZOセンサ)には、歯車式の機械センサが内蔵されています。歯車の噛み合い音が発生する場合がありますが、故障ではありません。

- **エンコーダ (ABZOセンサ) を強い磁気近づけないでください**

エンコーダ (ABZOセンサ) には磁気センサが内蔵されています。強い磁界を発生する装置などの近くにシリンダを設置すると、エンコーダ (ABZOセンサ) が破損したり誤動作するおそれがあります。輸送・保管時の環境や、使用時の設置場所にご注意ください。エンコーダ (ABZOセンサ) 表面の磁束密度が表の値を超えないようにしてください。

| 品名          | 磁束密度   |       |
|-------------|--------|-------|
|             | 輸送・保管時 | 使用時   |
| <b>DR28</b> | 5 mT   | 2 mT※ |

※ 1 mTを超え2 mT以下のとき、使用周囲温度は20 °Cを超え40 °C以下でお使いください。

## ■ 温度

- **シリンダは、モーターの表面温度が80 °C以下で使用してください**

使用周囲温度、運転速度、運転デューティなどの運転条件によっては、モーターの表面温度が80 °Cを超える場合があります。エンコーダ (ABZOセンサ) を保護するため、モーターの表面温度は80 °C以下で使用してください。

なお、エンコーダ (ABZOセンサ) の温度が上限値に達すると、モーター過熱保護のアラームが発生します。

- **シリンダは使用周囲温度の範囲内で運転してください**

使用周囲温度を外れると、正常に動作しなくなるおそれがあります。

## ■ 運転

- **シリンダとドライバ間の配線距離は20 m以下にしてください**

20 mを超えると、推力が低下する原因になります。

- **停止時の保持力**

シリンダの停止時の保持力はカレントダウン (停止電流50%) 時の値です。カレントダウン時の保持力低下にご注意ください。また、電源をOFFにするとシリンダの保持力がなくなるため、負荷の落下にご注意ください。

- **最大押し当て速度や最大押し当て原点復帰速度を超える速度で押し当てをしないでください**

衝撃によってシリンダが破損する原因になります。高速で押し当てをしてしまったときは、25ページ[8 トラブルシューティング]を参照して処置してください。

- リードが1 mmのシリンダは、押し当て運転を行なわないでください

押し当て運転が完了する前にTLC出力がONになってしまうことがあります。(押し当て原点復帰運転は実行できます。)

## ■ 点検

- グリース

初期運転時(1～3週間)に、ボールねじやリニアガイドのグリースが黒くなる場合があります。22ページを参照して、汚れたグリースを拭き取り、新しいグリースを塗布しなおしてください。

## ■ 接続ケーブル使用時の注意点

当社のケーブルを使用する際は、次の点にご注意ください。

- コネクタを挿入するとき

コネクタ本体を持って、まっすぐ確実に差し込んでください。コネクタが傾いたまま差し込むと、端子が破損したり、接続不良の原因になります。

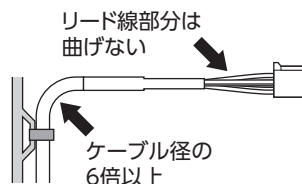
- コネクタを抜くとき

コネクタのロック部分を解除しながら、まっすぐ引き抜いてください。リード線を持って引き抜くと、コネクタが破損する原因になります。

- ケーブルの曲げ半径

ケーブルの曲げ半径は、ケーブル径の6倍以上で使用してください。

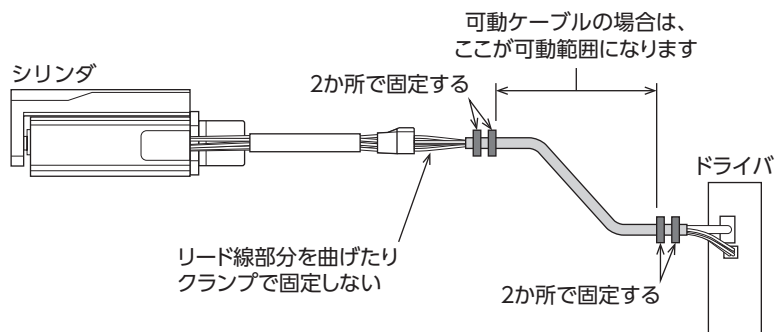
リード線部分を曲げたり、クランプなどで固定しないでください。コネクタが破損するおそれがあります。





## ● ケーブルの固定方法

ケーブルを固定するときは、コネクタの近くを図のように2か所で固定するか、幅広のクランプで固定するなど、コネクタにストレスがかからない対策を施してください。



## 4 準備

### 4-1 製品の確認

次のものがすべて揃っていることを確認してください。不足したり破損している場合は、お買い求めの支店・営業所までご連絡ください。

- コンパクト電動シリンダ ..... 1台
- 安全にお使いいただくために ..... 1部

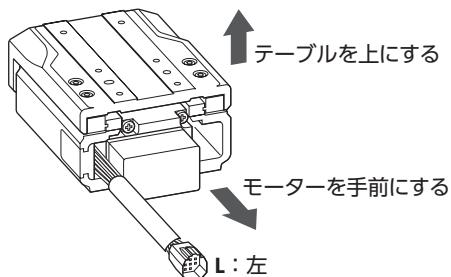
### 4-2 品名の見方

お買い求めの製品の品名は、銘板に記載された品名で確認してください。

**DR 28 W 2.5 BC 03 - AZ A K L**  
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

|    |              |                                      |
|----|--------------|--------------------------------------|
| 1  | シリーズ         | <b>DR:DRシリーズ</b>                     |
| 2  | 搭載モーターの取付角寸法 | <b>28:28 mm</b>                      |
| 3  | 形状           | <b>W:ワイドテーブルタイプ</b>                  |
| 4  | リード          | <b>1:1 mm<br/>2.5:2.5 mm</b>         |
| 5  | ボールねじの種類     | <b>B:精密ボールねじ<br/>BC:精密ボールねじ カバー付</b> |
| 6  | ストローク        | <b>03:30 mm</b>                      |
| 7  | 搭載モーター       | <b>AZ:AZシリーズ</b>                     |
| 8  | 付加機能         | <b>A:付加機能なし</b>                      |
| 9  | モーター仕様       | <b>K:DC電源入力仕様</b>                    |
| 10 | ケーブル引出方向※    | <b>L:左(モーターの左側から引き出し)</b>            |

※ ケーブル引出方向は、テーブルを上にして、モーターを手前にしたときの方向を表わしています。



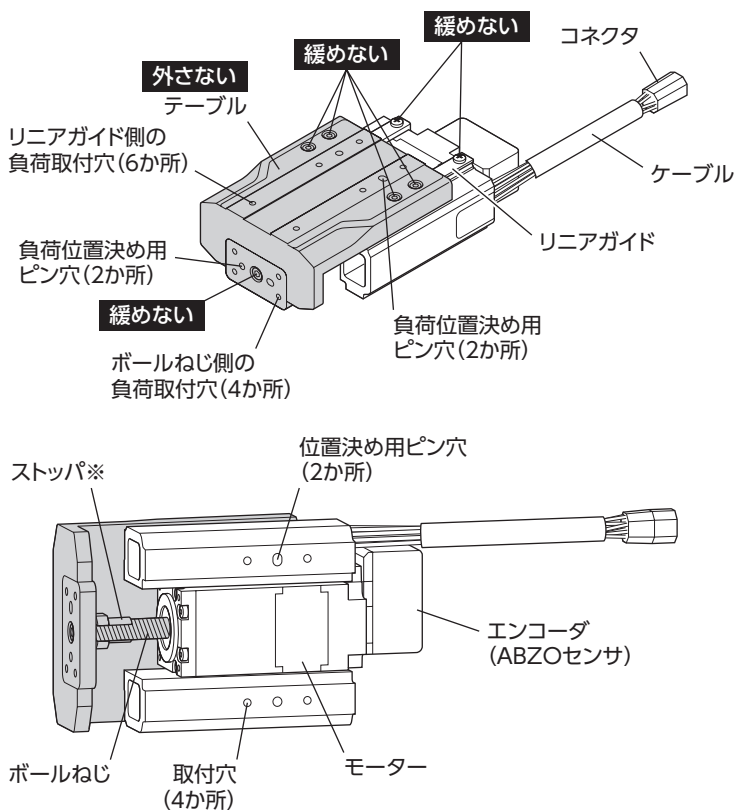
## 4-3 銘板の情報

図はサンプルです。



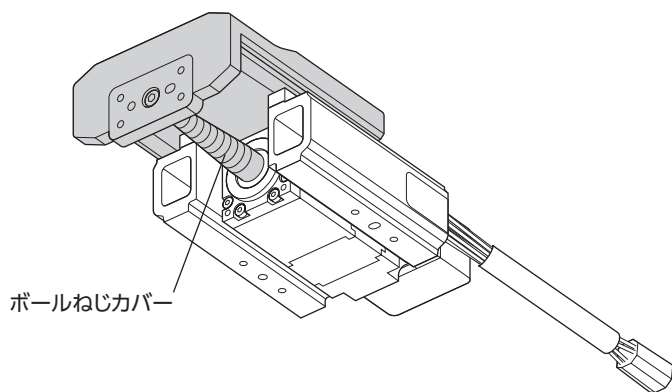
## 4-4 各部の名称

灰色で示した部分は可動部です。



※ ボールねじの引き込みを防止しています。

## ■ ボールねじカバー付



### 4-5 組み合わせ可能なドライバ

DRシリーズは、AZシリーズ DC電源入力タイプのドライバと組み合わせてお使いください。

# 5 設置

## 5-1 設置場所

シリンダは、機器組み込み用に設計・製造されています。風通しがよく、点検が容易な次のような場所に設置してください。

- 屋内に設置された筐体内 (換気口を設けてください)
- 使用周囲温度 0～+40 °C (凍結しないこと)
- 使用周囲湿度 85%以下 (結露しないこと)
- 爆発性雰囲気、有害なガス (硫化ガスなど)、および液体のないところ
- 直射日光が当たらないところ
- 塵埃や鉄粉などの少ないところ
- 水 (雨や水滴)、油 (油滴)、およびその他の液体がかからないところ
- 塩分の少ないところ
- 連続的な振動や過度の衝撃が加わらないところ
- 電磁ノイズ (溶接機、動力機器など) が少ないところ
- 放射性物質や磁場がなく、真空でないところ
- 海拔1,000 m以下

### ■ 磁界が発生する環境にシリンダを設置する場合

エンコーダ (ABZOセンサ) には磁気センサが内蔵されています。強い磁界を発生する装置などの近くにシリンダを設置すると、エンコーダ (ABZOセンサ) が破損したり誤動作するおそれがあります。エンコーダ (ABZOセンサ) 表面の磁束密度が表の値を超えないようにしてください。

| 品名   | 磁束密度  |
|------|-------|
| DR28 | 2 mT※ |

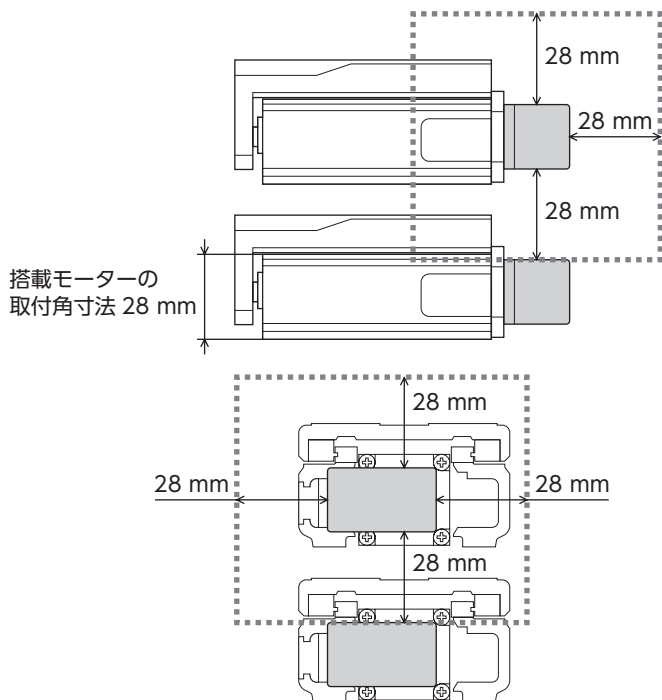
※ 1 mTを超え2 mT以下のとき、使用周囲温度は20 °Cを超え40 °C以下でお使いください。



強い磁界を発生する装置などの近くにシリンダを設置しないでください。

## ■ 設置に必要なスペース

エンコーダ (ABZOセンサ) は磁気の影響を受けやすいため、シリンダを並べて設置するときは、エンコーダ (ABZOセンサ) から水平・垂直方向へ図の距離を確保してください。



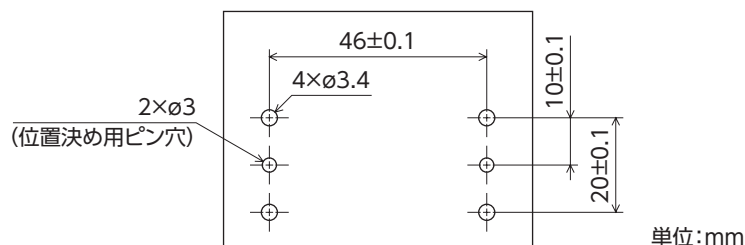
## 5-2 取付プレート設計

シリンダの設置方向に制限はありません。

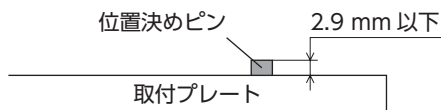
シリンダは、耐振動性にすぐれ、熱伝導効果が高い平滑な取付プレート（板厚目安5 mm 以上）に設置してください。精度が要求される場合は、負荷条件や、剛性面、振動面などの設置条件を考慮して、板の厚みを設計してください。

締付トルクの値は推奨値です。取付プレートと負荷の設計条件に合わせて、適切なトルクで締め付けてください。

シリンダを設置する際に必要な取付プレートの推奨設計サイズを示します。



位置決めピンを取付プレートに取り付けたとき、位置決めピンの高さは、必ず取付プレートの上面から2.9 mm以下になるようにしてください。2.9 mmを超えるとシリンダが破損して、けが、機械破損の原因になります。

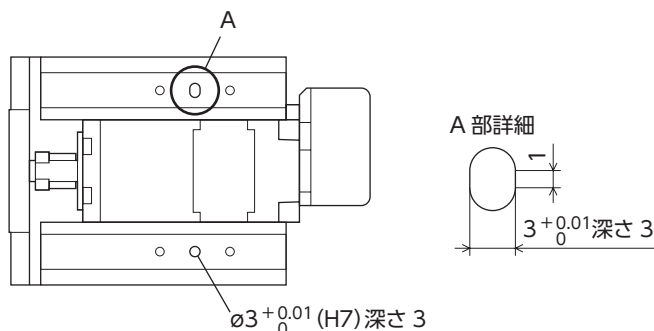


### ● 取付穴の仕様

| 品名   | ねじの呼び | 締付トルク (N・m) | 有効ねじ深さ (mm) |
|------|-------|-------------|-------------|
| DR28 | M3    | 1           | 5           |

### ● 位置決め用ピン穴の仕様(単位:mm)

推奨位置決めピンサイズ:  $\phi 3 \begin{smallmatrix} 0 \\ -0.01 \end{smallmatrix}$  (h7)



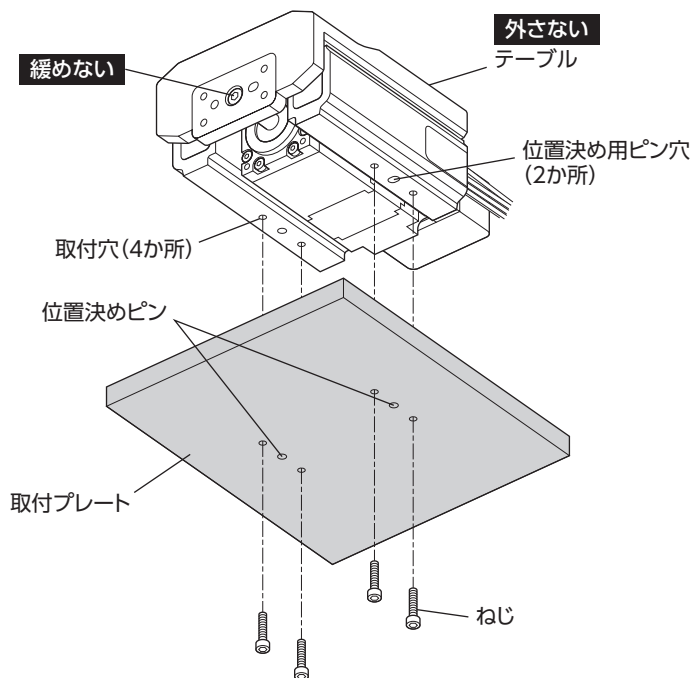
## 5-3 設置方法

1. 位置決めピンを取付プレートに取り付けます。

**重要** 位置決めピンは、必ず取付プレートに取り付けてください。シリンダに圧入すると、シリンダが破損する原因になります。

**memo** テーブルの可動方向に対して直角度が要求されるときは、丸穴の位置決め用ピン穴だけを使用し、テーブルが可動方向に対して直角になるように調整してください。

2. シリンダを位置決めピンに差し込み、ねじ（付属していません）で取付穴を固定します。



**重要** テーブルを外したり、テーブルのねじを緩めないでください。ボールねじの取付精度が低下して、シリンダの動作不良や寿命低下の原因になります。また、出荷時にエンコーダ（ABZOセンサ）に設定した原点がずれてしまい、予期せぬ動作によって装置が破損するおそれがあります。



## 5-4 負荷の取り付け

負荷取付面には、リニアガイド側とボールねじ側の2種類があります。

### ■ 負荷取付時の注意

ワイドテーブルタイプのシリンダは負荷モーメントを受けることができますが、仕様値以下でお使いください。仕様値を超えた負荷モーメントが加わった状態で運転を続けると、シリンダの動作不良や寿命低下の原因になります。製品の仕様については26ページでご確認ください。

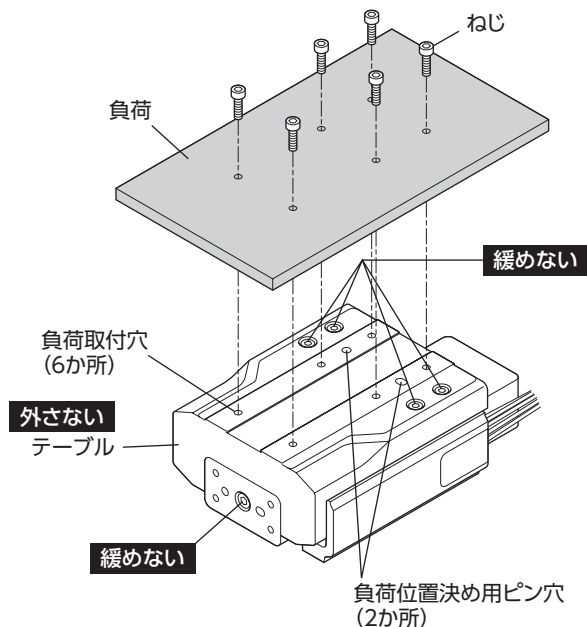
### ■ リニアガイド側の負荷取付穴を使用する場合

#### ● 負荷取付穴の仕様

| 品名   | ねじの呼び | 締付トルク (N・m) | 有効ねじ深さ (mm) |
|------|-------|-------------|-------------|
| DR28 | M3    | 1           | 5           |

#### ● 取付方法

ねじ (付属していません) で負荷を固定します。



**重要**

- テーブルを外したり、テーブルのねじを緩めないでください。ボールねじの取付精度が低下して、シリンダの動作不良や寿命低下の原因になります。また、出荷時にエンコーダ(ABZOセンサ)に設定した原点がずれてしまい、予期せぬ動作によって装置が破損するおそれがあります。
- 負荷側の取付面の平面度は0.01 mm以下にしてください。平面度が悪いとテーブルが変形して、動作不良や破損の原因になります。

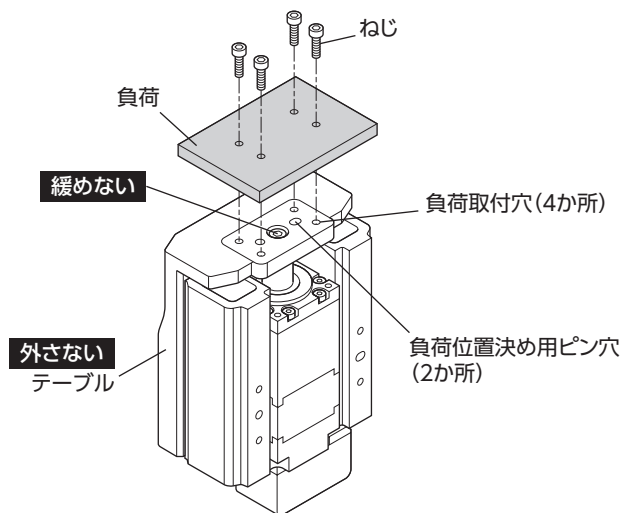
## ■ ボールねじ側の負荷取付穴を使用する場合

### ● 負荷取付穴の仕様

| 品名   | ねじの呼び | 締付トルク(N・m) | 有効ねじ深さ(mm) |
|------|-------|------------|------------|
| DR28 | M3    | 1          | 5.5        |

### ● 取付方法

1. テーブルが止まるまで、ボールねじを引き込んだ状態にします。
2. ねじ(付属していません)で負荷を固定します。

**重要**

テーブルを外したり、テーブルのねじを緩めないでください。ボールねじの取付精度が低下して、シリンダの動作不良や寿命低下の原因になります。また、出荷時にエンコーダ(ABZOセンサ)に設定した原点がずれてしまい、予期せぬ動作によって装置が破損するおそれがあります。

## ■ 負荷位置決め用ピン穴

負荷位置決め用ピン穴には、丸穴と長穴の2種類があります。負荷を取り付けるときに再現性が必要な場合は、負荷位置決め用ピン穴をお使いください。



位置決めピンは、必ず負荷側に取り付けてください。テーブルに圧入すると、シリンダが破損する原因になります。



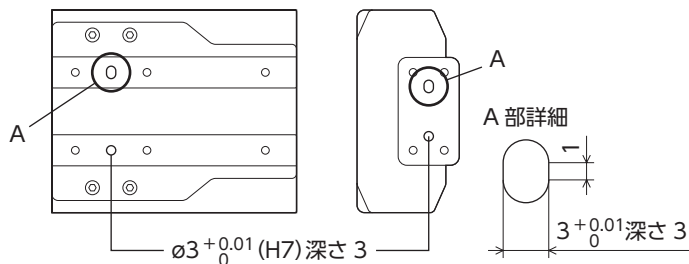
テーブルに対して直角度が要求されるときは、丸穴の位置決め用ピン穴だけを使用し、負荷がテーブルに対して直角になるように調整してください。

### 負荷位置決め用ピン穴の仕様(単位:mm)

推奨位置決めピンサイズ:  $\phi 3 \begin{smallmatrix} 0 \\ -0.01 \end{smallmatrix}$  (h7)

・ リニアガイド側

・ ボールねじ側



## 6 接続

---

ドライバとの接続方法や、シリンダとドライバの配線距離については、ドライバの取扱説明書をご覧ください。

## 7 点検・保守

### 7-1 点検項目と時期

シリンダを1日8時間稼動した場合、表の期間ごとにメンテナンスを行なってください。昼夜連続運転を行なったり、稼働率が高いときは、状況に応じてメンテナンス周期を短縮してください。

| メンテナンス時期 | 外部の確認 | 外部の清掃 | 内部の確認 |
|----------|-------|-------|-------|
| 始動時      | ○     | ○     | －     |
| 稼動1週間後   | ○     | ○     | ○     |
| 以後1か月ごと  | ○     | ○     | ○     |

#### ■ 外部の確認

表の項目を確認してください。

| 点検対象      | 確認内容  | 処置   |
|-----------|---|--|
| シリンダ      | <ul style="list-style-type: none"><li>シリンダを取り付けているねじに緩みがないか確認してください。</li><li>負荷を取り付けているねじに緩みがないか確認してください。</li></ul> | ねじを増し締めしてください。   |
| ケーブル、コネクタ | <ul style="list-style-type: none"><li>ケーブルに傷やストレスがないか確認してください。</li><li>シリンダとドライバの接続部に緩みがないか確認してください。</li></ul>      | <ul style="list-style-type: none"><li>ケーブルを交換してください。</li><li>コネクタを接続しなおしてください。</li></ul> |
| 運転状況      | 軸受け部などから異常な音や振動が発生していないか確認してください。   | 負荷の取付状態や、運転速度を確認してください。  |

#### ■ 外部の清掃

シリンダの外表面は、随時清掃してください。

- 柔らかい布で汚れを拭き取ってください。
- 圧縮空気を吹き付けしないでください。隙間から塵埃が入り込んで、故障の原因になります。
- 汚れがひどいときは、中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭き取ってください。
- 石油系溶剤は使用しないでください。塗装面を傷めるおそれがあります。

## ■ 内部の確認

目視で、表の項目を確認してください。グリースが変色していても、走行面に艶があれば潤滑は良好です。グリースの補給方法については、「7-2 グリースの補給」をご覧ください。

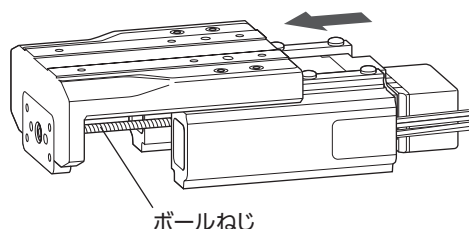
| 点検対象   | 確認内容                             | 処置                              |
|--------|----------------------------------|---------------------------------|
| ボールねじ  | 塵埃などの異物が付着していないか確認してください。        | 異物を取り除いてください。                   |
|        | グリースの艶がなくなったり、量が減っていないか確認してください。 | 柔らかい布でボールねじを清掃し、グリースを塗布してください。  |
| リニアガイド | 塵埃などの異物が付着していないか確認してください。        | 異物を取り除いてください。                   |
|        | グリースの艶がなくなったり、量が減っていないか確認してください。 | 柔らかい布でリニアガイドを清掃し、グリースを塗布してください。 |

## 7-2 グリースの補給



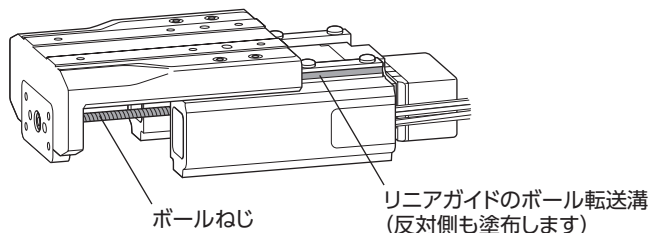
グリースを塗布するときは、安全めがねを着用してください。グリースの取り扱いは、グリースメーカーの指示に従い、安全には十分気を付けて行なってください。グリースが目に入ったり皮膚に付着したときは、すぐに水で洗い流してください。

1. ボールねじを引き出します。



2. 柔らかい布で古くなったグリースや汚れを拭き取ってから、新しいグリースを図の給油箇所塗布します。

使用グリース:AFCグリース (THK株式会社)



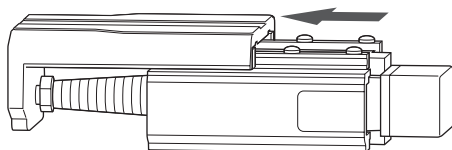
## ■ ボールねじカバー付のとき

ボールねじカバー付のシリンダは、次の手順でグリースを塗布してください。

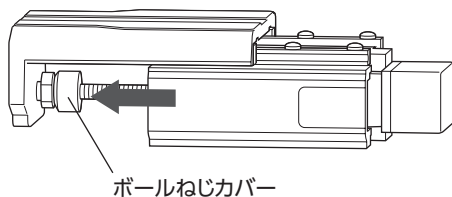


素手でボールねじカバーに触らないでください。ボールねじカバーで指などを切るおそれがあります。

1. ボールねじを引き出します。

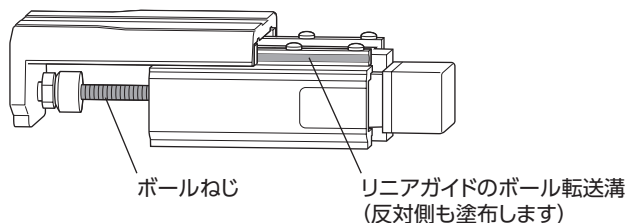


2. ボールねじカバーをボールねじ先端に寄せます。

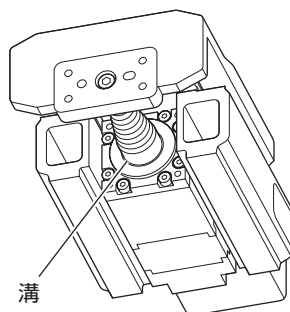


3. 柔らかい布で古くなったグリースや汚れを拭き取ってから、新しいグリースを図の給油箇所塗布します。

使用グリース:AFCグリース (THK株式会社)



4. ボールねじカバーを戻し、溝に収まることを確認します。



## 7-3 保証

製品の保証については、当社のWEBサイトでご確認ください。

<https://www.orientalmotor.co.jp/>

## 7-4 廃棄

製品は、法令または自治体の指示に従って、正しく処分してください。



## 8      トラブルシューティング

シリンダの運転時、設定や接続の誤りなどで、シリンダが正常に動作しないことがあります。シリンダの運転操作が正常に行なえないときは、この章をご覧になり、適切な処置を行なってください。それでも正常に動作しないときは、最寄りのお客様ご相談センターにお問い合わせください。

| 現象               | 予想される原因                     | 処置   |
|------------------|-----------------------------|--|
| ボールねじが噛み込んで動かない。 | 仕様値を超える速度や負荷条件でボールねじを当て止めた。 | <p>次表の推奨起動速度でボールねじを戻してから、次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 負荷取付ねじが緩んでいないか。</li> <li>• ボールねじや負荷が破損していないか。</li> <li>• ストップや原点の位置がずれていないか。</li> <li>• 取付精度が変化していないか。</li> </ul> |
| 指令速度で動作しない。      | 負荷に対してシリンダの推力が不足している。       | 負荷を見直してください。   |
| シリンダの動作不良。       | 仕様値を超えた負荷モーメントが加わった。        | 仕様値以下の負荷モーメントで使用してください。  |
| シリンダの推力が低下している。  | 配線距離が仕様値を超えている。             | シリンダとドライバ間の距離を20 m以下にしてください。   |
|                  | グリースの粘度が変化した。               | 27ページ「9-2 一般仕様」で使用周囲温度を確認してください。   |

### 推奨起動速度

| 品名   | リード    | 推奨起動速度   |
|------|--------|----------|
| DR28 | 1 mm   | 0.2 mm/s |
|      | 2.5 mm | 0.5 mm/s |

## 9 仕様

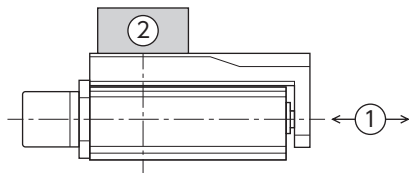
### 9-1 製品仕様

| シリンダ品名              |                        | DR28W1B03-AZAKL<br>DR28W1BC03-AZAKL    | DR28W2.5B03-AZAKL<br>DR28W2.5BC03-AZAKL |
|---------------------|------------------------|--|---|
| リード [mm]            |                        | 1                                      | 2.5                                     |
| ボールねじ種類             |                        | 精密                                     | 精密                                      |
| 繰り返し位置決め精度<br>[mm]  | ①先端部                   | $\pm 0.003$                            | $\pm 0.003$                             |
|                     | ②上部                    | $\pm 0.005$                            | $\pm 0.005$                             |
| ロストモーション [mm]       |                        | 0.03以下                                 | 0.03以下                                  |
| 最小移動量 [mm]          |                        | 0.001                                  | 0.001                                   |
| 許容モーメント<br>[N・m] ※1 | 静的許容モーメント<br>動的許容モーメント | $M_P:0.6 \quad M_Y:0.5 \quad M_R:16.2$ |   |
| 可搬質量 [kg]           | 水平                     | 4                                      | 4                                       |
|                     | 垂直                     | 4                                      | 2                                       |
| 推力 [N]              |                        | 40                                     | 20                                      |
| 押し当て力 [N]           |                        | —                                      | 50                                      |
| 保持力 [N]             |                        | 40                                     | 20                                      |
| ストローク [mm]          |                        | 30                                     | 30                                      |
| 最高速度 [mm/s] ※2      |                        | 40                                     | 100                                     |
| 最大加速度 [ $m/s^2$ ]   |                        | 0.2                                    | 0.5                                     |

※1 負荷は推力以下にしてください。

※2 周囲温度やケーブルの長さによっては、最高速度が低くなることがあります。

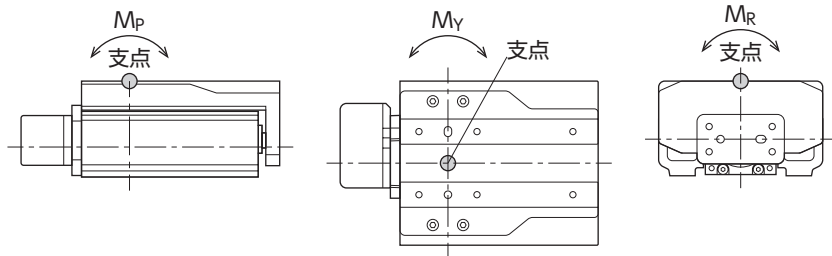
#### ● 繰り返し位置決め精度



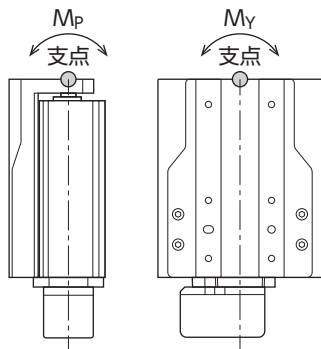
①は先端部での繰り返し位置決め精度です。

②は上部 (リニアガイド上) での繰り返し位置決め精度です。

● 許容モーメント(水平方向)

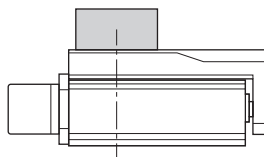


● 許容モーメント(垂直方向)

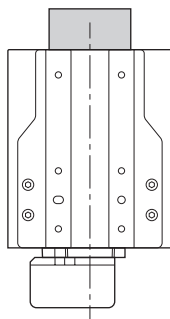


● 可搬質量

・ 水平方向



・ 垂直方向



## 9-2 一般仕様

|       | 使用環境                  | 輸送環境、保存環境               |
|-------|-----------------------|-------------------------|
| 周囲温度  | 0~+40 °C<br>(凍結しないこと) | -20~+60 °C<br>(凍結しないこと) |
| 周囲湿度  | 85%以下(結露しないこと)        |                         |
| 高度    | 海拔1,000 m以下           | 海拔3,000 m以下             |
| 騒音レベル | 70 dB(A) 以下           |                         |

# 10 法令・規格

---

## 10-1 CEマーキング/UKCAマーキング

### ■ EU EMC指令/UK EMC規則

シリンダと組み合わせるドライバは、EMCに基づいてマーキングを実施しています。  
適用規格などの詳細はドライバの取扱説明書でご確認ください。

## 10-2 EU RoHS指令/UK RoHS規則

この製品は規制値を超える物質は含有していません。

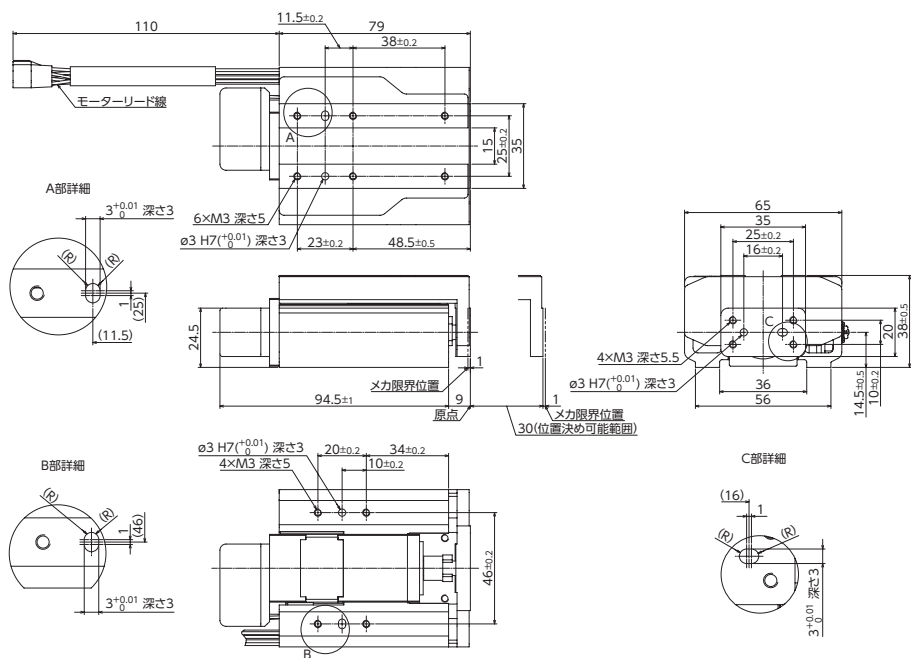
## 10-3 機械指令

シリンダとドライバは、一般的な産業機器への組み込み用として設計・製造しており、機械指令に基づいた組み込み宣言を実施しています。

適用規格:EN ISO 12100

| 品名                 | 質量 (kg) |
|--------------------|---------|
| DR28W1B03-AZAKL    | 0.46    |
| DR28W1BC03-AZAKL   |         |
| DR28W2.5B03-AZAKL  |         |
| DR28W2.5BC03-AZAKL |         |

单位:mm







- この取扱説明書の一部または全部を無断で転載、複製することは、禁止されています。損傷や紛失などにより、取扱説明書が必要なときは、最寄りの支店または営業所に請求してください。
- 取扱説明書に記載されている情報、回路、機器、および装置の利用に関して産業財産権上の問題が生じても、当社は一切の責任を負いません。
- 製品の性能、仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱説明書には正確な情報を記載するよう努めていますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどにお気づきの点がありましたら、最寄りのお客様ご相談センターまでご連絡ください。
- **Orientalmotor**、**αSTEP**、およびABZOセンサは、日本その他の国におけるオリエンタルモーター株式会社の登録商標または商標です。  
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。この取扱説明書に記載の他社製品名は推奨を目的としたもので、それらの製品の性能を保証するものではありません。オリエンタルモーター株式会社は、他社製品の性能につきましては一切の責任を負いません。

© Copyright ORIENTAL MOTOR CO., LTD. 2018

2023年5月制作

## オリエンタルモーター株式会社

**お問い合わせ窓口** (フリーコールです。携帯・PHSからもご利用いただけます。)

**総合窓口**

技術的なお問い合わせ・訪問・お見積・ご注文

**お客様ご相談センター**

受付時間 平日/9:00 ~ 19:00

TEL 0120-925-410 FAX 0120-925-601

CC-Link・MECHATROLINKなどのFAネットワークや  
Modbus RTUに関するお問い合わせ

**ネットワーク対応製品専用ダイヤル**

TEL 0120-914-271 受付時間 平日/9:00 ~ 17:30

故障かな?と思ったらときの検査修理窓口

**アフターサービスセンター**

受付時間 平日/9:00 ~ 17:30

TEL 0120-911-271 FAX 0120-984-815

WEBサイトでもお問い合わせやご注文を受け付けています。 <https://www.orientalmotor.co.jp/>